

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和4年11月9日		
開催時間	11時30分～12時30分		
開催場所	グランメッセ熊本(熊本県上益城郡益城町大字福富1010)		
主催者	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2022開催委員会		
研修会等の名称	豪雨と線状降水帯とその予測		
講師等の氏名等	熊本气象台 観測予報管理官 永田 和也 氏		
内容・結果等	1. 令和2年7月4日の線状降水帯 2. 近年の豪雨と線状降水帯1～6		
	3. 線状降水帯の予測		
	4. 線状降水帯に関わる情報の改善		
	(顕著な大雨に関する情報、半日程度前からの呼びかけ、今後の計画)		
	まとめと感想		
	線状降水帯の予測(MSM(メソモデル)は令和2年7月でも実施されているが、その精度は		
	地方予報区単位では、線状降水帯予測では、発生予想確率25%、発生見逃率60%であり		
	大雨予測では60%程度の確率である。予測精度向上のためには水蒸気の流入を正確に		
	捉える必要があり、令和4年度も九州管内で観測レーダーを増強している。今後の目途は、		
	令和4年:広域(九州北部)で半日前から、令和6年:県単位で半日前から、令和11年:市町村単位で半日前からの予測とし、徐々に精度向上を図る。(令和5年は直前(30分前)予測も実施)今後の防災対策のためにも線状降水帯の予測精度向上に大いに期待したい。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費	旅費規則に基づき算出(今寺～会場)	11,640
	宿泊費	ピースフル優祐悠	4,900
	振込手数料		
	合計		16,540

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和4年11月9日		
開催時間	12時50分-13時50分		
開催場所	グランメッセ熊本(熊本県上益城郡益城町大字福富1010)		
主催者	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2022開催委員会		
研修会等の名称	デジタル化の本質とは何かから考える防災・減災技術に必要な意識改革 ～事例:ため池施設へ防災ICT技術の導入～		
講師等の氏名等	日本技術士会 九州本部 熊本県支部 役員 (株)有明測量開発社コンサルタント 事業本部技術二部1G課長 田中 啓文 氏		
内容・結果等	概要		
	1. デジタル化とは 2. 東日本大震災の教訓 3. 農業土木とは 4. ため池とは		
	5. ため池におけるICTの導入例		
	まとめと感想		
	ため池にデジタル技術を活用した防災システムの事例を基に講義をされた。水位計など単にデジタル技術を使うことだけでは使用目的が限定的で平時はほとんど利用されないため効率的ではなく、デジタル技術活用の重要なポイントとして「汎用性」が重要であると説明された。研究された事例としては、ため池の防災システムとして、農家がデータを活用できるように水温もわかり農家が利用しやすいシステムとして汎用性を確保するというものであった。防災関連に限らず、デジタル技術の活用指針として、単に技術を適用するだけでなく、平時の利活用などの汎用性を意識することは重要だと理解した。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 の 先	金 額 (円)
	会場費		1面に記載
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和4年11月10日		
開催時間	10時30分-11時30分		
開催場所	グランメッセ熊本(熊本県上益城郡益城町大字福富1010)		
主催者	先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2022開催委員会		
研修会等の名称	シリコンアイランド九州の更なる発展に向けて ~2030年の日本社会を支える九州であるために~		
講師等の氏名等	経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 課長 松本 孝之 氏		
内容・結果等	1. 2030年の日本の社会像		
	デジタル社会の進展、半導体市場の拡大、政府の半導体戦略		
	2. 九州の半導体関連産業の現状		
	厚みを増す半導体生産拠点・九州		
	3. シリコンアイランド九州の更なる発展に向けて		
	九州半導体人材育成等コンソーシアム、九州が目指す2030年の3つの姿		
	まとめと感想		
	半導体市場は世界市場で10年後には現在の50兆円から100兆円へと右肩上がりである。		
	九州には約1000社の半導体関連企業が集積しており今後も設備投資計画は進行している。九州の更なる発展の為に半導体人材の育成に力を入れており、令和4年度から佐世保高専からモデルカリキュラムを開始し、その後熊本高専でも実施するとのことであった。		
	講義は経済情勢を知れる良い機会であり、今後も九州の半導体産業に注目し期待したい。		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		1面に記載
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合 計		